

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年1月20日

事業所名 てらびあぼけっと市が尾教室

保護者等数(児童数)37(38) 回収数 31 割合 83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30件	1件	件	件	・動くスペースもしっかりとあり、個人スペースも集中しやすい良い狭さ	これからもスペースが維持できるよう、整理整頓に心がけます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	25件	2件	件	4件	・1対1が叶うのはとても助かります。 ・先生の専門性がとても高いです。また熱意を感じます。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26件	3件	件	3件	・荷物を置く場所、おもちゃの片づけ易さなど、子供もわかりやすくして良いです。	引き続きお子様の目線にたち、生活空間をつくっていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	31件	件	件	件	・動くスペースもしっかりとあります。	
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	27件	3件	件	1件	苦手に合わせた課題が適切です。	保護者様と面談してから半年に一回は支援計画を作っています。
	6	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	28件	2件	件	1件	・苦手と得意をバランスよく取り合わせてくれています。	サインを頂くとき、必ず丁寧な説明をしています。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	30件	1件	件	件	・十分だと思います。	職員間で情報の共有し、計画に沿った支援をしています。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	25件	3件	件	3件	・たまにそろそろ次のステップを希望するところもあります。	お子様が飽きないよう療育内容を工夫しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6件	5件	7件	13件	・幼稚園に通っている為、必要がありません。 ・事業所の交流はないが、幼稚園に通っている為、必要がないと思っている。	通園等との情報共有や交流を行ってます。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30件	1件	件	件		契約時に説明をさせていただいています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29件	1件	件	1件	・いつも丁寧に説明していただいています。	支援内容を詳しく説明させていただいています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	11件	9件	2件	9件		状況に応じてホームセラピーのご提案をさせていただきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	30件	1件	件	件	・今の課題や要望を伝える機会が多くて助かります。	引き続きLINEや電話等により、お子様のご様子共有させていただきます。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28件	1件	件	2件	・毎回5分以上フィードバックをしてくれています。	都度、対応をさせていただいています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2件	7件	14件	8件	・保護者同士の交流が必要ない人やしたくない人もいると思うので開催すれば良いというものではないと思う。 ・あまり参加したことがないが、もしあれば参加したい。(幼稚園だと他のこどもと比較されるので)	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29件	1件	件	1件	・苦手なことも子供の好きに合わせる配り物をすぐに対応して頂いたときは驚きました。 ・毎回の確に答えて頂いています。	都度、対応をさせていただいています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	31件	件	件	1件		セラピーノートを活用したり、送迎時お話しをさせていただいています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26件	3件	件	2件	・毎月のお便りはほっこりします。 ・ラインにて写真を送って頂けるのは有難いです。	毎月、お便りの中に情報等は載せて配布させていただきます。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30件	件	件	1件	・活動時の写真は顔を隠して頂いています。	鍵付き書庫に入れ、関係者以外触れる事が出来ないようにしています。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26件	3件	件	2件	・避難訓練はありますが、その他のマニュアル等は説明されていないと思います。	マニュアル等は周知して、訓練等は事前にお便りやホームページ上にアップしてきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28件	1件	件	2件		年2回、予定し行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27件	4件	件	件	・楽しみに行ってます。・毎回楽しみに通所しています。・療育での遊びは勿論、往復で大好きな電車に乗れることも楽しみな様子で	今後もお子様が楽しく通える環境作りや療育内容を工夫し職員一同で楽しい教室を目指していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	30件	1件	件	件	・個別だからこそ、向き合ってもらえているので大変満足しています。・個人と集団のバランスがとても良いと思います。	今後も満足して頂けるよう支援、環境作りを取り組みお子様のサポートを全力で行っていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年1月20日

事業所名 てらびあぼけつと市が尾教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6件	件	防犯カメラを設置し様子を確認できるようにしている。不必要なものは置かないようにスペースを確保しています。	怪我の無いよう十分配慮し、整理整頓をする事で活動スペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	6件	件	子供対先生=1対1が出来ている。	お子さまを複数の職員で見守れるように心掛けていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5件	1件	トイレの出入りに段差があるので、お子様に声がけしながら入るようにしています。	改善が必要だと思えるところは職員間で話し合い創意工夫を凝らしていくことでより良い教室を目指します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6件	件	毎日決まった時間に使用した玩具や机など消毒及び整理整頓をしています。	継続していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4件	2件	毎週月曜日に目標設定と振り返りを行っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	件	職員全員で改善の話し合いをしています。	ミーティングで話し合いを行い、課題の検討・改善案の立案を行っていくことで今後の支援、業務に役立てていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5件	1件	ホームページ内にて公開しております。	毎月の会報で教室の様子やイベント等はお知らせしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3件	3件	年に1回、本部SVIによる内部監査を受けております。	引き続き継続していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件	件	本部・動画・外部研修を取り組んでいます。	引き続き、職員全員がスキルアップ出来るように継続していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件	1件	モニタリング前にアンケート用紙に記入して頂いております。	日々の支援やアンケート、モニタリングを参考に作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4件	2件		アセスメント表を参考をしているが、日々の記録も参照しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件	1件		特徴や性格に合わせた支援計画の作成に努めています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	件		職員間で共有しながら日々の支援を行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6件	件	お子さまのご利用時毎に職員間で話し合いをしています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件	件	固定化しないように、教材や遊びなどを調整していきます。	今後も教材や活動などお子様に合った内容でのプログラムのバリエーションを増やしていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6件	件		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件	件	毎日、開始前には打合せを行っています。また、毎月担当表を作成し、スムーズに準備できるようにしています。	記録やミーティング等で情報共有を行い、個々に応じた打ち合わせを行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4件	2件		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件	件		その日の記録は当日記入し書き忘れや情報が抜けないようにしています。
20 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件	件			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件	1件	管理者が参加し、内容を共有しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3件	3件	必用に応じて、関係各機関との連絡を行っています。	心配なご家庭、関係機関からの問い合わせがある方は状況を報告したり、こちらからも問い合わせをして把握するようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1件	3件	医療的ケアが必要な利用者様はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1件	3件	医療的ケアが必要な利用者様はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件	件		見学に来ていただいたり電話での相談などもお受けしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	件	5件		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3件	3件		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1件	5件		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2件	4件	区内の自立支援協議会の児童部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5件	1件	送迎時、家庭でのご様子をお聞きしたり、療育内容をお伝えし情報伝達を行っています。	今後も情報共有をこまめに行い、お子様の状況を共通理解していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3件	3件		口頭だけではなく、お便りでもお伝えしていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件	件	契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件	件	児童発達支援管理責任者が保護者と面談時間をしっかり取り、共通理解を図り、支援内容の説明を行っています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	件	都度、相談に応じ保護者様に寄り添いながら支援を行うよう心掛けています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	件	6件		今後、交流がもてる機会が作れるようになっていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	1件	すぐに対応し当日の振り返りで情報共有をしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5件	1件	毎月おたよりを保護者様に発行し日頃の活動の様子を掲載しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	件	重要書類、個人情報等は鍵付き書庫で保管し関係者以外が触れないようにしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3件	3件		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件	件	定期的に訓練を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	件	避難訓練を年2回実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5件	1件	アセスメントシートに記載し職員間も確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4件	1件		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	件	職員間でヒヤリハットは些細な事でも記録し再発防止に備えるため振り返りで情報共有をしています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	件	定期的に研修を行っています。	今後も継続していきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	件	契約時にお伝えしています。	

職員による自己評価

A環境面

大部屋と個室があり、十分なスペースを確保している。
交代で公休を取ることで、人員配置を厳守できている。
防犯カメラを設置し様子を確認できるようにしている。

B児童への支援内容

定期的に全職員が研修を受けている。また、お子様の
利用時毎に職員間にて話し合いをしている。

C関係機関との連携

子ども部会の参加や、幼稚園・保育園訪問で連携を
図っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

事業所内にて相談を行い、寄り添う姿勢を大切に取
組んでいる。

E非常対応

避難訓練の実施している。回を重ねるごとにスムーズ
に行動できるようになっている。虐待防止研修の実施。

保護者による評価

A環境面

動くスペースもしっかりとあり、個人スペースも良い狭
さ。また、きれいに整理されている。
先生の専門性も高いです。

B児童への支援内容

苦手と得意をバランスよく取り合わせてくれている。
子どもの課題を親身に聞いてくれる。

C事業所からの情報発信

セラピーノートのほか日々のフィードバックで詳しく
伝えてもらっている。
今の課題や要望を伝える機会が多くて助かります。

D非常対応

避難訓練はありますが、その他のマニュアル等は説明さ
れてないかと思います。

事業所内での分析

【共通点】

広いスペースを使って、身体を動かすこともでき、楽しく過ごせている。
要望に応じた療育を工夫して行っている。
一人一人に寄り添う、あたたかな支援をしている。

【相違点】

STによる支援を希望。

→ 応募をかけているが、採用に至っていない。既存のスタッフで言語模倣、口形模倣で言葉のセラピーを続ける。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

大部屋と個室があり、活動に応じて広いスペースを有効活用している。
社内研修を受けることにより、継続した支援を提供できた。
保護者様に寄り添うことを心掛け、相談支援に力を注いでいる。
個別療育を実施しており、個に応じた支援の提供ができています。
内部研修のみならず、外部の研修も受け、支援のスキルアップが図れている。

事業所の改善点

行き渋りがあるところのご意見が出ているので、また次も行きたいと思ってもらえるように支援に工夫を凝らしていく。
社員研修にも力を注ぎ、子どもの接し方や保護者様対応についても学ぶ機会を設けていく。

事業所の改善への取り組み

これからもセラピーの質の向上を目指す。
子どもの接し方や保護者様対応について社内研修を行う。
ご要望がたくさんあるので、事業所内相談と関係機関連携の実施を続けていく。
こども部会の参加などで、他事業所との関わりも持てるようにしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日々のお悩みや心配事を聞く機会を設けることで、保護者様の安心感に繋がっていると感じた。
これからも寄り添う姿勢を大切にして支援を続けていきたい。
スタッフ間のチームワークの良さも強みになっていると感じるので、
相談しやすく働きやすい環境を整えていきたい。

事業所名 てらびあぼけっと市が尾教室

担当者 管理者 関谷友子